

令和元年度

南アルプス市社会福祉協議会 事業報告

社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会

令和元年度南アルプス市社会福祉協議会事業及び決算概要

第3次地域福祉活動計画の基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」の実現を目指し、役職員が一丸となり、各種事業を実施し、地域福祉推進に取り組みました。また、第4次地域福祉活動計画についても策定委員会を中心に、地域住民や役職員が関わる中で市の地域福祉計画と連動した実行性のある計画を策定しました。

法人運営事業では、新規事業として社会福祉法人等との連携の強化を目指した地域連絡会を開催し、設置要綱の確認、相互連携や地域貢献についてなどの共有も図りました。

地域福祉事業では、これまで行ってきた社協の活動が、生活支援体制整備事業の第2層生活支援コーディネーター配置事業を新規に市から受託したことで、住民主体の地域福祉の推進のために、市と社協が両輪となり住民等の活動を後方支援する仕組みと役割分担がより明確になりました。成果としては、協議体で話し合いを重ねた結果、自治会圏域での移送支援や子ども食堂など地域の支援の輪が広がりを見せています。

令和元年度も日本各地で台風や水害などによる甚大な災害が相次ぎました。市民と共に行う被災地支援に加えて、全職員が交代で被災地を支援することで、日ごろの地域づくりや担当事業へ反映する機会としました。

成年後見センターでは、引き続き市と協議しながら市民後見人育成に向けての準備を続けています。

令和元年4月から受託した北部地域包括支援センターは、市本庁での半年間の業務を経て、10月からは白根げんき館に拠点を移し、社協が行う事業や活動と連携を図りながら業務に取り組みました。

北部地域包括支援センター以外の介護、障害福祉サービス事業は、社協の理念をふまえた質の高い支援を目指しました。居宅介護支援事業所は、主任介護支援専門員を中心に困難ケース、インフォーマルな支援にも継続的に力を注ぎました。訪問介護事業所は、在宅生活を支えるためのサービス向上を図り、個々の課題や地域の課題について解決に向けての発信をしました。3カ所のデイサービスは、それぞれの特色を生かした在宅生活の支援や、地域貢献となる支援を積極的に行ってきました。

指定管理者として受託していた養護老人ホーム慈恵寮は、市から示された閉鎖の方向性に沿って措置替えを中心とした業務を行いました。新しく移る施設でも、入所者が安心した生活が送れるよう措置権者や関係者と連携を図りました。地域や関係機関の協力のもと、全ての入所者が無事退所し滞りなく閉鎖することができました。

令和元年度の決算は、収入総額 544,958,967 円、支出総額 535,881,403 円で当期資金収支差額合計は 9,077,564 円となりました。その内訳は、法人本部がマイナス 1,388,285 円、介護事業は 10,465,849 円の収益、養護老人ホーム慈恵寮は市の一般財源 43,153,097 円を補填し収支差額無しでした。

すべての役職員が経営への意識を持ち、費用対効果を考えながら地域福祉推進のための業務にあたりました。令和 2 年度も、市からの理解を得るなかで、健全で適正な運営に努めていきます。

令和元年度 南アルプス市社会福祉協議会事業報告

I 法人運営事業

1 法人運営事業

法人運営の基盤整備を進め、経営体制の強化を図ります。

- ① 正副会長会議の開催
- ② 理事会・評議員会の開催
- ③ 評議員選任・解任委員会の開催
- ④ 監事の監査
- ⑤ 庁内会議
- ⑥ チーム制による会議（研修チーム）
- ⑦ 専門職別チーム（社会福祉士・防災士）
- ⑧ 労務人事管理
- ⑨ 法人会計
- ⑩ 衛生委員会開催（ストレスチェック含む）
- ⑪ 市議会厚生文教常任委員会への説明会
- ⑫ 市内社会福祉法人等との連携のための地域連絡会

| 名 称 | 内 容 | 開催回数・日付 |
|-------------|---|--|
| 正副会長会議 | 理事会、評議員会の対応について他 | 4回 |
| 理事会 | 第1回 平成30年度事業報告、決算他 第2回 会長、副会長の選任について他 第3回 役員選任方法の見直しについて他 第4回 令和元年度第1次補正予算他 第5回 令和2年度事業計画、予算他 (書面決議) | 5月30日 6月14日 8月27日 12月13日 3月13日 |
| 評議員会 | 第1回 平成30年度事業報告、決算他 第2回 令和元年度第1次補正予算他 第3回 令和2年度事業計画、予算他 (書面決議) | 6月14日 12月20日 3月19日 |
| 評議員選任・解任委員会 | 第1回 評議員の解任・選任 第2回 評議員の解任・選任 | 6月4日 12月19日 |
| 監事による監査 | 平成30年度定期監査 | 5月16日 |
| 庁内会議 | 会長、副会長、局長、次長、課長、施設長、 所長による全体会議 | 13回 |

| | | |
|----------------|---|-----------|
| チーム制会議 | 研修チーム（働き方改革・社協職員の仕事について考える研修） | 2回 |
| 専門職チーム | 社会福祉士チーム 防災士チーム | 5回 13回 |
| 労務人事管理 | 社会保険労務士への相談 衛生委員会開催 ストレスチェック実施 | 各1回 |
| 法人会計 | 会計事務所による監査 | 13回 |
| 市議会厚生文教常任委員会説明 | 社協事業、予算の説明 | 7月16日 |
| 社会福祉法人等との連携 | 第2回社会福祉法人等の連携のための地域連絡会（年度末も開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止） | 8月23日 |
| 苦情解決第三者委員会 | 平成30年度の苦情・ヒヤリハット報告会（61件） | 1回 |

視察研修受入れ

| 団体名 | 会場 | 内容 | 人数 |
|---------------|-----------------|--|-----|
| 松本市社協 庄内支会 | 地域防災交流センター | 協議体の活動について （介護福祉課への視察だったが、1層、2層SC連携について社協が担当） | 38名 |
| 上野原市社協 | 社協本所 | 協議体について | 12名 |
| 韮崎市社協 | 社協本所 | 法人後見業務の現状について | 3名 |
| 綾瀬市 地区社協 | 社協本所 しゃきよんの家 | 小地域福祉活動について | 20名 |

2 苦情解決体制

社協が行う事業に係る市民や利用者等からの苦情を解決するための体制の整備、対応を行いました。

- 苦情解決責任者 事務局長
- 苦情受付担当 各事業所の管理者
- 第三者委員 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を図るため3名に委嘱

| 苦情 | 事故（車量事故含む） | ヒヤリハット | 合計 |
|-----|------------|--------|------|
| 6 件 | 37 件 | 3 件 | 46 件 |

苦情の内容及び対応・結果の概要

| No | 部署 | 内容 | 対応・解決結果等 |
|----|-------|--|---|
| 1 | 地域福祉課 | 第4次地域福祉活動計画策定委員の選出地区に偏りがある。 | 地域の意見は作業部会や地域に出向いて収集する意向から、委員の増員はしないことを伝え理解を得る。 |
| 2 | 訪問介護課 | 宅配弁当業者を名乗る男性から、「利用者宅でヘルパーから『もっと早く届けてほしい』と言われて不快だ。謝罪文を求める」との苦情。 | 宅配弁当業者所長に連絡。男性は宅配弁当業者が委託している配達担当者の夫であり、利用者とは関わらないことを約束して配達の手伝いを許可していたことが判明。男性への対応を依頼した。 |
| 3 | 総務課 | 社協だより夏号の寄付金額の誤りが判明し、寄付者より連絡を受ける。 | 各自に謝罪に伺い、ボランティア情報誌、ホームページ、Facebookにて訂正記事の掲載を行い、再度謝罪。再発防止策を検討する。 |
| 4 | 総務課 | 社協の広報誌に記載されている内容について疑問やお金の面など匿名希望で連絡があった。 | 課長に報告、記録として残すよう指示を受け、匿名希望のため、特に対応はしない。 |
| 5 | 居宅支援課 | 退院する利用者家族より、病院からの移送と酸素の手配の件で問い合わせがあったが、担当CMが不在で内容が分からず、対応に時間がかかってしまい、家族から「担当者がいなければわからないのか」と不満の訴えがあった。 | 担当は利用者の退院日に不在となるため、事前に酸素の手配を行い、家族・施設には連絡を済ませていた。退院時の移送手段は気づかず手配ができていなかった。後日、訪問し確認不足であった事を謝罪。課内で検証し改善策を検討した。 |
| 6 | 地域福祉課 | ふくし生活支援サービスを利用している方より、プライバシーに関わる対応について苦情あり。 | 障害の方のため対応には注意していたが、不快な思いをさせたことを謝罪し、今後の対応について周知徹底。 |

3 会員の確保

自主性を持った社協活動の拡充、地域福祉活動のより一層の充実を図るため、一般会員や賛助会員への加入を促進してきました。そして、自主財源の確保に努めるとともに、事業運営の一層の効率化や経費削減に努めてきました。

一般会費（自治会）（※世帯数はH31.4.1現在）

| 地区 | 実世帯(戸) | 自治会加入世帯 | 会員戸数 | 金額(円) |
|----|--------|---------|--------|------------|
| 八田 | 2,807 | 1,960 | 1,617 | 1,617,000 |
| 白根 | 7,661 | 5,543 | 4,815 | 4,766,500 |
| 芦安 | 135 | 134 | 111 | 111,000 |
| 若草 | 4,859 | 2,989 | 2,567 | 2,567,000 |
| 楡形 | 7,211 | 5,799 | 4,659 | 4,652,400 |
| 甲西 | 4,844 | 3,504 | 2,829 | 2,953,000 |
| 合計 | 27,517 | 19,929 | 16,598 | 16,666,900 |

一般会費（社会福祉事業を行う個人、団体から）納入状況

| 区分 | 会員数 | 金額(円) |
|----|------|---------|
| 団体 | 24団体 | 160,000 |
| 合計 | | 160,000 |

賛助会費（社協事業にご賛同いただける個人、団体から）納入状況

| 区分 | 会員数 | 口数 | 金額(円) |
|----|------|------|---------|
| 個人 | 72人 | 181口 | 181,000 |
| 団体 | 28団体 | 37口 | 184,000 |
| 合計 | | | 365,000 |

4 福祉行事の推進

地域住民や社会福祉関係者が集う事業を通じて、地域のつながりや福祉活動の推進を図りました。

① 社会福祉大会の開催 参加者 280名

日時：令和2年 1月19日（日）楡形生涯学習センター

内容：第一部式典（表彰）

第二部

講演「よはくをあるく」～愛される欠陥をめぐって～

講師 堀内直也氏（宅老所みつばやあんき代表）

5 福祉バスの運行

福祉バス 2 台を温泉巡回や市民の研修等への参加のために運行しました。

福祉バスの運行

| | 運行回数 (温泉) | 乗車人数 (温泉) |
|--------|-----------|-------------|
| 楡形福祉バス | 114 (53) | 1,462 (250) |
| 若草福祉バス | 163 (110) | 1,300 (176) |
| 計 | 277 (163) | 2,762 (426) |

6 実習生の受入れ

① 社会福祉士実務研修

令和 1 年 8 月 19 日～令和 1 年 9 月 25 日 1 名

② 介護支援専門員実務研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期

7 役職員研修の実施

| 名称 | 開催日 | 人数 |
|-----------------|-----------------|-----------|
| 接遇研修 | 令和元年 5 月 23 日 | 職員 31 名 |
| | 令和元年 7 月 2 日 | 職員 29 名 |
| 第 4 次地域福祉活動計画研修 | 令和元年 6 月 3 日 | 理事 9 名+職員 |
| BCP 研修 | 令和元年 10 月 25 日 | 職員 25 名 |
| | 令和元年 10 月 29 日 | 職員 18 名 |
| 交通安全講習会 | 令和 2 年 2 月 20 日 | 職員 13 名 |

8 広報活動

社協の事業や地域福祉に関する情報を広く住民に伝え、福祉の啓発を図りました。

① 社協だよりの発行

年 2 回発行 (7 月 12 日・2 月 5 日) 配布数 (1 回につき) 20,581 部

② ボランティア情報誌の発行

毎月 1 日発行 配布数 (1 回につき) 20,200 部

③ ホームページによる情報発信

④ フェイスブックによる情報発信

掲載記事 232 ・いいね数 2,251 ・コメント 9 ・シェア 13

9 施設の管理

管理者として適切な管理運営とサービスの向上に努めました。

| 施設名 | 利用人数（通所E除く） |
|--------------------|-------------|
| ① 白根げんき館（指定管理） | 3,344名 |
| ② 甲西保健福祉センター（指定管理） | 13,946名 |
| ③ 旧若草健康センター（補助金） | 2,368名 |

1 0 社協発展強化計画の策定

地域福祉活動計画と連動した職員行動計画を策定しています。

1 1 地域防犯・防災への取組み（青色回転灯装備自主防犯パトロール）

業務の帰途等に公用車に青色回転灯を装備しパトロールを行いました。

II 地域福祉推進事業（地域福祉活動計画）

基本目標1:ともに学び育つふくしの環境づくり

重点目標1 学びや交流を通して助けあいの心と人を育てよう

重点施策1 地域支援者を育て支援する

希薄化した地域の繋がりや改善にむけ、地域課題に向き合い福祉活動の実践を仕掛けられる人材を育てサポートします。

① ボランティア団体助成事業

社協が活動費を助成したボランティア団体 41 団体
内訳（20,000 円 38 団体 10,000 円 3 団体）

② ボランティア育成支援事業

ボランティア事業

| 開催日 回数等 | 事業名 | 延べ参加者数 |
|-----------------|-----------------|--------|
| 8月2日～3日 | 夏休みボランティアスクール | 13名 |
| 9月14日 | ボランティア交流会 | 97名 |
| 毎月1回（第3水） | 男性ボランティア定例会 | 各回4～5名 |
| 毎月1回（第2火） | 女性ボランティア定例会 | 各回4名 |
| 毎月1回（第3木） | 話し相手ボランティア定例会 | 各回6～8名 |
| ごみ拾い3回 花植え1回 | 花植えごみ拾いボランティア活動 | 27名 |
| 随時 | 福祉ボランティア活動 | 20名 |

③ ボランティア相談窓口 随時相談対応

④ 介護支援ボランティア・ポイント制度事業

| | | | |
|---------------|---|---------|--------|
| 登録者数 | 147名 | 延べ活動回数 | 1,204回 |
| 活動受入施設 | 48カ所 | 内在宅活動回数 | 492回 |
| ポイント活用申請者数 | 39名 | 合計ポイント数 | 1,285 |
| 養成研修等開催日・参加者数 | 養成研修 6/19 13名 2/26 4名 フォローアップ研修 8/30 28名 3/27に第2回を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で次年度に延期 | | |

⑤ ふくし生活支援サービス事業

サポーター数 69名

重点施策2 自分のことを地域に伝えられる人をつくる

学びや交流を地域に向けて発信できる人材を育成し、当事者同士や住民が学びあい伝え合うことができる環境をつくりまします。

① ステップワン事業

| | | | |
|------|----|--------|-----|
| 実施回数 | 7回 | 延べ参加者数 | 18名 |
|------|----|--------|-----|

ゲーム大会3回 料理作り（カレー、ハンバーグ、準備含む）4回

重点施策3 次世代を担う子供たちへのふくし教育

これまでのふくし教育を振り返り将来を担う子供達への福祉教育について教育機関とともに考えプログラムを作成します。

① 夏休みボランティアスクール開催

令和元年8月2日～8月3日 参加者数13名

| | | | |
|------|-------------|------|-----|
| 実施回数 | 1回（8月2日～3日） | 参加者数 | 13名 |
|------|-------------|------|-----|

② ふくしポスター募集事業

応募数 891点

審査結果 最優秀賞 1点 優秀賞 3点 佳作 6点

審査員特別賞 3点

福祉大会において表彰

③ 学校での福祉教育

教育機関とともに考え作成したプログラムをもとに実施しました。

ふくし教育の実施 小中学校

| | | | |
|-----|-----|------------|--------|
| 実施校 | 10校 | 延べ参加児童・生徒数 | 1,411名 |
|-----|-----|------------|--------|

重点施策4 地域を担うためのふくし勉強会の実施

地域の困りごとを調査・把握し、学ぶ機会を定期的につくり自ら発信できるふくし人材の育成に努めます。

① ふくし勉強会

| | | | |
|------|----|--------|------|
| 実施回数 | 1回 | 延べ参加者数 | 133名 |
|------|----|--------|------|

② 出張ふくし勉強会

| | | | |
|------|-----|--------|------|
| 実施回数 | 11回 | 延べ参加者数 | 230名 |
|------|-----|--------|------|

③ 企業向けの研修会

| | | | |
|------|----|--------|-----|
| 実施回数 | 3回 | 延べ参加者数 | 75名 |
|------|----|--------|-----|

基本目標2:みんなを絆でつなぐふくしのまちづくり

重点目標2 お互いのことを知りふれあえる機会をつくろう

重点施策5 地域で交流の場をつくる

子供から高齢者まで分け隔てなく誰もが気軽にふれあい交流でき、ともに行う活動を通して、絆やつながりの再構築を目指す地域の交流拠点として、地域になくてはならない交流の場をつくりまします。

① 通所型サービスE事業

(介護認定を受けていない65歳以上の方)

| | 実人数 | 回数 | 延べ人数 | 備考 |
|------|------|------|--------|-----|
| 八田地区 | 18名 | 88回 | 1,116名 | 1カ所 |
| 白根地区 | 37名 | 135回 | 1,332名 | 1カ所 |
| 芦安地区 | 5名 | 44回 | 195名 | 1カ所 |
| 若草地区 | 30名 | 179回 | 1,224名 | 4カ所 |
| 甲西地区 | 26名 | 134回 | 909名 | 1カ所 |
| 計 | 116名 | 580回 | 4,776名 | 8カ所 |

※3月は新型コロナウイルスの影響により事業中止

② ふれあい・いきいきサロン、障害者サロン等への支援（65 団体）

●高齢者サロン

| | |
|-------|-------|
| 開催箇所数 | 32 団体 |
|-------|-------|

●子育てサロン

| | |
|-------|------|
| 開催箇所数 | 5 団体 |
|-------|------|

●障がい者サロン

| | |
|-------|------|
| 開催箇所数 | 2 団体 |
|-------|------|

●その他サロン（全般）

| | |
|-------|-------|
| 開催箇所数 | 26 団体 |
|-------|-------|

サロンボランティア研修会の開催 参加者 31 名

10 月 11 日 地域防災交流センター「認知症高齢者の孤立」

※3月に第2回目を開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止

③ 老人クラブ

単位老人クラブの活性化

居場所づくり等、単位老人クラブ活動(新規)に対して助成金を支出し、介護予防の取り組みの支援

④ 地域交流拠点「しゃきよんの家下町」

来場者数

| 種 別 | 延人数 | 備 考 |
|-------|-------|--------------|
| 視察団体 | 20 名 | 小地域福祉活動（綾瀬市） |
| 昼食提供者 | 24 名 | （囲碁クラブ） |
| 来所者数 | 228 名 | |

拠点貸出

| 内 容 | 貸出回数 | 備 考 |
|-------|------|------------|
| 囲碁クラブ | 24 回 | 延べ 117 名参加 |

学習会・体験・講演会（イベント）

| 事 業 名 | 開催回数 | 延参加人数 | 備 考 |
|-------|------|-------|-----|
| 映画鑑賞 | 12 回 | 84 名 | |

| | | | |
|------------------|------|-------|--|
| 笑いヨガ・ゆる体操・体操教室 等 | 15 回 | 112 名 | |
| 音楽関係講座 | 40 回 | 274 名 | |
| 教養講座 | 15 回 | 127 名 | |

地域との連携

| 会 議 名 | 開催日 | 参加者数 | 備 考 |
|--------------|----------------------|--------------|-------------------|
| 運営推進会議 | 12 月、3 月 | 12 月 6 名 | 3 月感染症対策にて文書報告 |
| 下町世代間交流実行委員会 | 4 月、5 月、9 月 | 25 名 | |
| 地域イベント | 5 月 8 日 10 月 26 日 | 76 名 65 名 | 下町フェスタ 下町ハロウィン |

重点目標3 ご近所同士ささえあいの気持ちを育てよう

重点施策6 地域づくりを考える場の設定

地域に住む個人の困りごと、地域のみんが懸念していることなどを、住民が気軽に参加し話しあえる場、状況に応じた会議を設定し推進します。

今年度は、専任の第2層生活支援コーディネーターを配置し、各地区において協議体の設置、活動に向けた取り組みの促進を行いました。

生活支援体制整備協議体（第2層生活支援コーディネーター配置）

生活支援体制整備協議体開催

| 地 区 | 開 催 日 |
|--------|---|
| 八田地区 | 4 月 11 日、5 月 22 日、6 月 28 日、7 月 26 日、8 月 30 日、9 月 19 日、10 月 5 日、10 月 26 日、11 月 28 日 |
| 白根東地区 | 5 月 22 日、7 月 24 日、8 月 28 日、9 月 18 日、11 月 27 日、1 月 22 日、2 月 26 日 |
| 白根源地区 | 4 月 23 日、5 月 28 日、6 月 24 日、7 月 23 日、9 月 13 日、10 月 23 日、11 月 23 日、12 月 17 日、1 月 21 日 |
| 白根百田地区 | 4 月 17 日以降は3層での開催に移行 |
| 白根飯野地区 | 4 月 18 日、5 月 16 日、6 月 20 日、7 月 18 日、9 月 19 日、10 月 18 日、11 月 21 日、12 月 16 日、1 月 16 日、2 月 8 日、2 月 25 日 |
| 白根飯丘地区 | 4 月 25 日、5 月 30 日、6 月 25 日、7 月 25 日、8 月 26 日、9 月 24 日、9 月 26 日、10 月 24 日、11 月 28 日、12 月 12 日、1 月 15 日、1 月 19 日、2 月 10 日 |

| | |
|---------|--|
| 芦安地区 | 4月5日、5月16日、6月21日、7月18日、8月21日、 9月17日、10月17日、11月12日、12月11日、 2月12日 |
| 若草北地区 | 4月18日、6月13日、8月7日、10月1日、11月26日、 1月29日 |
| 若草南地区 | 3層で開催していたが、下半期は2層でも開催した 10月8日、11月8日、12月6日、1月7日、2月18日 |
| 楡形西地区 | 4月23日、5月25日、7月23日、9月24日、12月17日、 2月25日 |
| 楡形北地区 | 4月19日、5月24日、6月27日、7月25日、8月30日、 9月27日、10月25日、11月29日、1月31日、 2月26日 |
| 楡形小笠原地区 | 4月26日、5月31日、6月26日、7月29日、9月17日、 10月21日、11月29日、12月16日、1月22日、 2月21日 |
| 楡形豊地区 | 4月24日、5月20日、6月21日、7月19日、9月12日、 10月17日、11月9日、12月19日、1月24日 |
| 甲西大明地区 | 5月13日、7月8日、8月19日、10月11日、11月15日、 12月13日、1月22日、2月21日 |
| 甲西南湖地区 | 4月24日、5月15日、7月3日、10月3日、11月7日、 12月5日、1月16日、2月13日 |
| 甲西落合地区 | 4月22日、5月27日、6月24日、7月29日、8月26日、 9月30日、10月28日、12月2日、2月17日 |

※3月は新型コロナウイルスの影響により各地区とも開催自粛

- ・いきがい・助け合いサミット in 大阪（9月9日～10日）27名
- ・支えあいディスカッション2019（10月9日）90名
- ・第2層運営意見交換会（10回）
- ・長野県小布施町視察研修（11月20日）35名
- ・支えあいの地域づくり実感フォーラム（12月4日）

重点施策7 防災をキーワードとした地域づくり支援

「防災事業・減災活動」を通して地域を見つめなおし、災害対策や地域づくりを住民みんなで自主的に行える活動の実施に向け支援します。

災害ボランティアセンター設置運営訓練

福祉避難所開設訓練 ※同時開催

| | | | |
|------|----|--------|-----|
| 実施回数 | 1回 | 延べ参加者数 | 97名 |
|------|----|--------|-----|

防災地域出前講座（自治会、各種団体、サロン等）

| | | | |
|------|-----|--------|------|
| 実施回数 | 15回 | 延べ参加者数 | 769名 |
|------|-----|--------|------|

防災福祉教育

| | | | |
|------|----|--------|--------|
| 実施回数 | 5校 | 延べ参加者数 | 1,032名 |
|------|----|--------|--------|

令和元年台風19号対応

災害ボランティアバス運行（長野市、東松山市）

| | | | |
|------|----|--------|------------|
| 実施回数 | 2回 | 延べ参加者数 | 62名（職員11名） |
|------|----|--------|------------|

職員派遣（県社協から依頼分 長野市 10/26～30・11/3～7）

| | | | |
|------|----|--------|----|
| 実施回数 | 2回 | 延べ参加者数 | 2名 |
|------|----|--------|----|

社協全職員を対象に被災地支援に派遣

| | | | |
|------|----|-------|-----|
| 実施回数 | 5回 | 延べ職員数 | 28名 |
|------|----|-------|-----|

基本目標3: 気づきさえあうふくしの仕組みづくり

重点目標4 相談機能を強化します

重点施策8 気づき発見できる仕組みづくり

情報を得ることができない状況はなぜ生まれるのかを調査し、すべての住民に情報が届き、地域住民が自ら困りごとを抱える人に気づき発見できるシステムの構築に取り組みます。また、継続した個別相談支援を行うほかに、住民のちょっとした気づきに対応するための方法などを検討し、住民の気づき、専門職につなげられる仕組みづくりも並行して行います。

① コミュニティソーシャルワーカー配置事業

相談件数 延べ 6,640件 実人数 352名

| 相談支援方法 | 延件数 | 連携機関 | 延件数 |
|------------|-------|---------|-------|
| 自宅訪問 | 1,562 | 本人 | 3,327 |
| 来所相談 | 450 | 同居家族 | 200 |
| 同行支援 | 147 | 別居家族 | 227 |
| 電話相談(連絡調整) | 2,020 | 地域住民・知人 | 374 |
| 電子メール | 100 | 民生委員 | 277 |
| 個別支援会議 | 121 | 店・企業 | 103 |
| 関係機関との連絡調整 | 2,126 | 医療機関 | 137 |

| | | | |
|-----------|-------|---------------|-------|
| その他 | 114 | 警察・保健所 | 43 |
| 合計 | 6,640 | 地域包括支援センター | 148 |
| | | 北部地域包括支援センター | 124 |
| | | 市 介護福祉課 | 23 |
| 年代別相談支援者数 | 実人数 | 市 家庭児童相談室 | 83 |
| 15歳未満 | 2 | 市 健康増進課 | 71 |
| 15～29歳 | 16 | 市 福祉総合相談課（生保） | 142 |
| 30～39歳 | 16 | 市 福祉総合相談課 | 209 |
| 40～49歳 | 24 | その他市役所各部署 | 81 |
| 50～59歳 | 44 | 障害者相談支援センター | 104 |
| 60～64歳 | 34 | 障害者計画相談 | 90 |
| 65歳以上 | 215 | 社会福祉協議会 | 532 |
| 年齢不明 | 1 | ケアマネジャー | 118 |
| 合計 | 352 | その他 | 227 |
| | | 合計 | 6,640 |

コミュニティーソーシャルワーカー活動実践報告会

専門職（ケアマネジャー、介護福祉士、保健師、社会福祉士、
精神保健福祉士、市各課職員、若者サポートステーション職員）
向けコミュニティーソーシャルワーク実践報告会

2月25日（火） 参加者数 32名

出張ふくし相談会

月2回（第1、第3水曜）開催 相談来所者数 13名

開催場所 甲西保健福祉センター、養護老人ホーム慈恵寮、上八田公民館、下今井ふれあいセンター、下宮地公民館つどいの家、橿形北地区農村環境改善センター、飯野新田営農センター、八田児童館、神ノ木団地集会所、南アルプス市働く婦人の家、J A南アルプス市源支所、鏡中條公民館、芦安窓口サービスセンター、野牛島集落センター、古市場区公会堂、中野所原集会所、松聲堂、橿形社会福祉会館、街の薬局、湯沢公民館、曲輪田公会堂、南原団地集会所

② おやつサービス事業

| | |
|------|-----|
| 実施回数 | 82回 |
|------|-----|

③ 食の自立支援事業

| | | | |
|-----|-----|-------|---------|
| 実人数 | 98名 | 延べ配食数 | 14,467食 |
|-----|-----|-------|---------|

④ 生活福祉資金貸付事業

新規貸付 0件 0円

⑤ 生活福祉資金利子補給事業

生活福祉資金利子補給事業 0件

居室整備資金利子補給事業 0件

⑥ 社会福祉金庫貸付事業

新規貸付 1件 70,000円

R1年度償還 8件 177,500円

償還完了 1件

徴収不能処理 0件

貸付残額 32件 2,083,095円

重点施策9 解決から予防につなげる仕組みづくり

全ての重点施策の取り組みを再発防止・予防策の仕組みとしてつなげ、事後対応ではない早期発見・早期対応システムづくりを進めます。また、地域で解決できる機能や自己の権利を表明することが困難な方の権利を護ることを理解した地域福祉の推進を住民とともに考え、誰もが安心して生活できる福祉のまちを目指します。

ふくし相談支援センター

チラシ設置場所 計 113カ所

法人後見事業（Ⅲ 成年後見センターに記載）

成年後見制度相談会（Ⅲ 成年後見センターに記載）

日常生活自立支援事業（Ⅲ 成年後見センターに記載）

地域福祉活動計画の評価・策定

第4次地域福祉活動計画の策定（新規）

| | |
|-------|--------------------------------|
| | |
| 策定委員会 | 6月3日、9月18日、12月3日、2月14日 合計4回 |

| | |
|-----------------|---|
| | 3月11日に第5回を開催予定だったが新型コロナウイルスの影響により資料配布、意見聴取で実施 |
| 作業部会 | 役職員が4つのグループに分かれ開催 合計18回 |
| 全体作業部会 | 6月19日、7月15日、1月31日 3回 |
| プロジェクトチーム 会議 | 職員8名で構成 22回 |

その他

① 赤い羽根共同募金事業

社会福祉協議会への配分金内訳

| 事業名 | 事業内容 | 配分額(円) |
|-------------------------|---------------------------|------------|
| 地域社会福祉事業(A4) | 福祉ポスターの募集 学校での福祉教育 | 130,000円 |
| | 地域福祉活動計画評価事業 | 700,000円 |
| あったかサービス事業(A6) | ふれあい生き生きサロン助成事業 | 1,000,000円 |
| 地域における防災・減災のまちづくり事業(A7) | 地域への防災・減災の啓発活動など | 285,000円 |
| みんなで地域をよくする事業(A7) | 一次相談事業・ふくし小委員会・地域福祉活動団体助成 | 285,000円 |
| 市町村社協地域福祉活動事業(B1) | ボランティアだより発行 | 2,500,000円 |
| | ボランティア活動推進事業 | 360,000円 |
| 小地域福祉活動事業(B2) | ふれあい広場助成事業 | 600,000円 |
| 地域福祉活動団体推進(B3) | ボランティア団体育成事業 | 560,000円 |
| 歳末たすけあい事業(C) | 学用品支援事業 | 100,000円 |
| 計 | | 6,520,000円 |

② 本所通院サービス事業

| | | | |
|------|-----|--------|------|
| 登録者数 | 49名 | 延べ利用人数 | 679名 |
|------|-----|--------|------|

③ 芦安通院サービス事業

| | | | |
|------|-----|--------|------|
| 登録者数 | 20名 | 延べ利用人数 | 107名 |
|------|-----|--------|------|

④ 車いす・福祉車輛の貸し出し事業

| | | |
|------|--------|------------|
| 車いす | 本所 62回 | 白根げんき館 11回 |
| 福祉車輛 | 305回 | |

⑤ 買い物支援への車輛貸出事業

| | | |
|------|----|--------|
| 貸出回数 | 9回 | 湯沢区自治会 |
| 貸出回数 | 1回 | 六科区自治会 |

⑥ 制度外入浴サービス事業

実施回数 0回

Ⅲ 成年後見センター事業

判断能力は低下しているが契約能力のある方が対象となる「日常生活自立支援事業」と、本人に代わって契約行為や財産管理を行う「法人後見」を行っています。日常生活の判断が難しい方でも、多職種や地域の方々と連携を図り、その人らしく安心して生活が送れるよう支援しています。また権利擁護に対して研修や啓発活動を行うなか、成年後見市民講座の研修を修了した方から7名が市民生活支援員として活動しています。今後、認知症高齢者等が増えることは予想されるため、潜在的ニーズ発見やつなぎなどの研修や啓発活動にも力を注いでいます。

① 法人後見関係受任件数

| | | |
|-----------|--------|-----------------|
| 受任件数（実人数） | 26件 | 後見 15 保佐 6 補助 5 |
| 新規受任件数 | 5件 | 後見 3 保佐 1 補助 1 |
| 終了件数（死亡） | 9件 | 後見 4 保佐 3 補助 2 |
| 延べ相談支援回数 | 1,288回 | 担当者会議含む |

② 日常生活自立支援事業契約件数

（福祉サービス利用援助事業・県委託事業）

| | | |
|-----------------------|--------|-----------------------------|
| 契約件数（実人数） | 83件 | 認知症 23 知的 31 精神 24 その他 5 |
| 新規契約件数 | 7件 | 認知症 1 知的 1 精神 3 その他 2 |
| 終了件数（死亡、後見制度・他市町へ移行等） | 14件 | 認知症 7 知的 2 精神 3 その他 2 |
| 延べ相談支援回数 | 6,045回 | 担当者会議含む |

③ 後見センター相談受付状況

| | | |
|----------|-------|---------|
| 新規相談件数 | 51 件 | |
| 延べ相談支援回数 | 186 回 | 担当者会議含む |
| 後見相談会 | 6 件 | |

④ 後見センター委員会関係

| 委員会名 | 回数 | 備考 |
|---------------------------------------|-----|---|
| 成年後見センター運営委員会 (日常生活自立支援事業推進委員会兼ねる) | 2 回 | センターの事業内容等方向性について検討 ※3 月 10 日に予定していた委員会はコロナウイルス感染防止のため書面同意 |
| 後見業務検討委員会 | 4 回 | 後見受任の可否・支援内容等の検討 |

⑤ 人材育成

| 内容 | 日程 | 備考 |
|--------------------|---|--|
| 成年後見市民講座 | 8 月 20 日 27 日 9 月 3 日 10 日 17 日 | 成年後見制度・日常生活自立支援事業について 参加者 15 名 同行実習者 1 名 |
| 日常生活自立支援事業生活支援同行訪問 | 10 月 10 日 | 成年後見市民講座受講者 |

⑥ 講師派遣・啓発活動

| 内容 | 日程 | 場所 |
|-------------------------|----------|---------------------|
| 相続セミナー | 6 月 27 日 | 若草生涯学習センター |
| 韮崎市社協視察受け入れ | 1 月 15 日 | 社協本所 |
| 上野原市市民後見人養成講座 (活動報告) | 2 月 22 日 | 上野原市総合福祉センター ふじみ |

⑦ 会議・研修参加

| 内容 | 日程 | 主催者 |
|--------------------|----------|---------|
| 成年後見制度利用促進に向けた推進会議 | 5 月 30 日 | 山梨県 |
| 本人情報シートに関する研修会 | 6 月 22 日 | ぱあとなあ山梨 |

| | | |
|---------------------------|----------------|---------|
| 日常生活自立支援事業契約締結審査会 | 6月25日 | 県社協 |
| 家事関係機関との連絡協議会 | 7月22日 | 甲府地方裁判所 |
| 日常生活自立支援事業に係る金融機関との連絡会 | 7月29日 | 県社協 |
| 新任生活支援員研修会 | 9月13日 | 県社協 |
| 日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会 | 10月28日 | 県社協 |
| 成年後見制度利用促進体制整備研修 | 10月29日 ～31日 | 全社協 |
| 日常生活自立支援事業専門員・生活支援員合同研修会 | 12月4日 | 県社協 |
| 日常生活自立支援事業・生活保護ケースワーカー研修会 | 12月11日 | 県社協 |
| 基幹的社協専門員連絡会議 | 12月11日 | 県社協 |
| 知的障害者福祉業務従事者研修会 | 12月13日 | 県障害者相談所 |
| 事務局長・専門員合同連絡会議 | 12月26日 | 県社協 |
| 法人後見実施社協等情報交換会及び研修会 | 2月28日 | 県社協 |

IV 介護保険事業(委託事業)

地域包括支援センター事業(新規)

地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

① 北部地域包括支援センター事業

総合相談支援業務・権利擁護業務

支援実件数 582 件 対応延べ件数 4557 件

| ①相談者別（延べ件数） | | | | ② 受付分類別（延べ件数） | |
|-------------|------|------|------|----------------|------|
| 本人 | 749 | | | 保健・医療 | 248 |
| 家族・親族 | 1040 | | | 認知症関係 | 307 |
| 地域住民・知人 | 112 | | | 精神疾患 | 20 |
| 民生委員 | 58 | | | 介護保険 | 1608 |
| ケアマネジャー | 728 | | | 住宅改修 | 22 |
| サービス事業者 | 244 | | | 福祉用具 | 20 |
| 医療機関 | 265 | | | 施設入所 | 151 |
| 庁内行政機関等 | 580 | | | 総合事業・介護予防事業 | 259 |
| 庁外行政機関等 | 79 | | | 在宅福祉サービス | 68 |
| 地域包括支援センター | 289 | | | 障害福祉に関すること | 12 |
| 社会福祉協議会 | 206 | | | 介護一般の相談 | 226 |
| 障害福祉関係機関 | 23 | | | 日常生活相談 | 497 |
| 障害者相談支援センター | 45 | | | 情緒的支援 | 63 |
| 警察 | 12 | | | 家族間の問題 | 127 |
| 消防 | 2 | | | 近隣との問題 | 4 |
| 成年後見人 | 5 | | | 生活保護・生活困窮 | 111 |
| 成年後見センター | 57 | | | 虐待関係（高齢者） | 133 |
| その他 | 60 | | | 虐待関係（障害者） | 0 |
| 空白 | 3 | | | 成年後見制度 | 112 |
| 合計 | 4557 | | | 日常生活自立支援事業 | 13 |
| ③相談方法（延べ） | 新規 | 継続 | 合計 | 消費者被害 | 6 |
| 電話 | 119 | 1364 | 1483 | DV相談 | 0 |
| 訪問 | 28 | 535 | 563 | 苦情 | 2 |
| 来所 | 155 | 162 | 317 | 見守り相談（情報提供） | 16 |
| 連絡調整 | 246 | 1765 | 2011 | 実態把握（サービス未利用者） | 14 |
| 個別支援会議 | 1 | 70 | 71 | 実態把握（介護予防把握事業） | 0 |
| メール・文書 | 1 | 13 | 14 | 実態把握（安否確認） | 1 |
| その他 | 32 | 66 | 98 | 実態把握（その他） | 47 |
| 合計 | 582 | 3975 | 4557 | その他 | 165 |

地区・年代別集計

| | 40代 | | 50代 | | 60代 | | 70代 | | 80代 | | 90代 | | 100代 | | 不明 | | 合計 |
|----|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|----|----|----|------|
| | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | |
| 八田 | 0 | 0 | 11 | 0 | 25 | 8 | 49 | 374 | 241 | 401 | 30 | 82 | 0 | 0 | 4 | 1 | 1226 |
| 白根 | 12 | 0 | 26 | 21 | 171 | 184 | 357 | 567 | 613 | 893 | 51 | 127 | 12 | 0 | 1 | 25 | 3060 |
| 芦安 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 76 | 13 | 4 | 23 | 107 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 |
| 市外 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 18 | 0 | 7 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 34 |
| 市内 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 合計 | 12 | 4 | 39 | 21 | 196 | 269 | 420 | 964 | 878 | 1408 | 86 | 216 | 12 | 0 | 5 | 27 | 4557 |

包括的・継続的ケアマネジメント業務

介護支援専門員への相談支援

| | | | |
|----------------|-----|-------------------|-----|
| | | ケアマネ支援（医療機関等への同行） | 8 |
| ケアマネ支援（相談・助言） | 199 | ケアマネ支援（担当者会議参加） | 18 |
| ケアマネ支援（サービス調整） | 1 | ケアマネ支援（会議開催支援） | 2 |
| ケアマネ支援（関係機関調整） | 34 | ケアマネ支援（その他） | 26 |
| ケアマネ支援（同行支援） | 17 | 合計 | 305 |

新規介護予防プラン プランチェック実施件数 2件

② 北部指定介護予防支援事業

ケアプラン作成件数

| | | | | |
|-------------|----|------|----|------|
| 第1号介護予防支援事業 | 直営 | 346件 | 委託 | 72件 |
| 指定介護予防支援事業 | 直営 | 209件 | 委託 | 172件 |

V 介護保険事業

介護保険制度のもと介護サービスを担う事業所として、高齢者等が要介護状態になっても住み慣れた地域でいきいきと生活が送れるよう良質なサービス提供に努めました。また、地域に貢献できる福祉・介護の拠点としての事業所を目指し、安定した経営ができました。

1 居宅介護支援事業（1事業所）

介護認定を受けている利用者の個々の状況に合わせて、利用者主体の居宅介護計画（ケアプラン）作成に取り組んできました。特に支援困難な状況や複雑な背景に置かれているケースには、地域の支援者や多様な資源をケアプランに取り込み、多職種とともに利用者の生活を支えるチーム作りを目指してきました。また主任介護支援専門員を配置し5名の体制で、特定事業所を維持して運営することができました。

新規依頼の相談(年間の実人数) 69件 うち支援開始 47件
カンファレンス・担当者会議 179回

① 介護保険

| 要介護度 | 年間利用者数 (月利用者数の年合計) | 月平均件数 小数四捨五入 |
|------|-----------------------|-----------------|
| 要介護1 | 384 | 32 |
| 要介護2 | 627 | 52 |
| 要介護3 | 330 | 28 |
| 要介護4 | 195 | 16 |
| 要介護5 | 105 | 9 |
| 合計 | 1,641 | 137 |

中重度者(介護3～5)の割合は全体の38%となっている。

② 介護予防

| 要介護度 | 年間利用者数 (月利用者数の年合計) | 月平均件数 小数四捨五入 |
|------|-----------------------|-----------------|
| 要支援1 | 2 | 0 |
| 要支援2 | 18 | 1.5 |
| 合計 | 20 | 1.7 |

③ 実習受け入れ

平成31年度介護支援専門員実務研修による実習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期

④ 研修の演習助手派遣

山梨県主任介護支援専門員更新研修 1名 (9～10月計4日間)

山梨県主任介護支援専門員研修 1名 (11～12月計3日間)

2 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業・訪問型サービスA事業 (1事業所)

要支援、要介護認定を受けている利用者、または総合事業対象者の居宅にホームヘルパーや支援員が訪問し、個々のケアプランに沿って身体介護や家事支援を行い、利用者自身が主体的に、地域で自立した生活となるようサービス提供を行いました。利用者が一番身近なところで支援を行う介護サービス事業であり、日常の支援の中でキャッチした個々の課題や地域課題については、解決に向けて発信し、多様なサービスや地域の資源につなげるように努めました。

① 介護保険事業(訪問介護・総合事業訪問型サービス・訪問A)

| サービス提供日数 | 月間利用者数の合計(年) |
|----------|--------------|
| 366日 | 1,385人 |

内訳 訪問介護 1,011人 (月間利用者数の合計)

総合事業訪問型 29人 (")

訪問型A 345人 (")

② 講師派遣・協力

・2月7日 介護アンバサダー「介護の魅力」富士北稜高校1年生授業
(山梨県保健福祉部健康長寿推進課)

③ 訪問介護実習等の受け入れ 3校 6名 (計4日間)

・優和福祉専門学校(介護福祉士)1年生 見学実習2名1日間(6月)

・帝京福祉専門学校(介護福祉士)2年生 介護実習2名2日間(11月)

・甲斐清和高校 (福祉クラス)2年生 見学実習2名1日間(7月)

3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業・通所型サービスA事業 (3事業所)

令和元年度は介護事業が厳しい状況の中、それぞれの特徴を生かしながらデイが目指す利用者一人ひとりに寄り添った介護を大切に、高齢者のみでなく誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう幅広いサービスの展開を行ってきました。また、福祉避難所としての機能を生かす準備を進めるため、研修や設置訓練も実施しました。

デイサービスゆうかりは温泉を利用した入浴サービスを売りとして高齢者（要介護者と要支援者）と障がい者の基準該当障害サービスの生活介護も実践してきました。例年同様に軽度者が全体の7割を占める状況は変わっていません。利用年数を経て緩やかに介護度が上がって行く傾向が見られます。稼働率については昨年度とほぼ同じで横ばいとなりました。

デイサービスセンターわかくさは、中重度だけでなく軽度の受け入れも積極的に行い、介護と看護の両面から利用者や家族に寄り添い、あらゆるニーズにできるだけ答えることで、今年も家族から心温まる労いの声を聞くことが出来ました。しかし、その反面リスクも高く思うような実績を上げることが出来ませんでした。

デイサービスしゃきよんの家下町は、地域密着通所介護事業所として、利用者の事情に柔軟に対応し、家庭的な雰囲気の中、サービスを提供してきました。また地区の民生委員、ボランティアや体操講師などの協力を得るなか、地域課題である「地域の元気な高齢者の居場所作り」に取り組んできました。

① 利用状況（全利用者）

| 事業所名 | 定員 | 年間開設日数 | 1日平均利用者数 | 延べ利用回数 |
|-----------|----|--------|----------|--------|
| デイわかくさ | 30 | 310 | 17.0 | 5,318 |
| デイゆうかり | 30 | 310 | 24.9 | 7,725 |
| しゃきよんの家下町 | 10 | 310 | 6.3 | 1,954 |

(1) 通所介護度別利用者数

| 事業所 | 要支援1 | | 要支援2 | | 介護1 | | 介護2 | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|--------|
| | 平均登録者数 | 延べ利用回数 | 平均登録者数 | 延べ利用回数 | 平均登録者数 | 延べ利用回数 | 平均登録者数 | 延べ利用回数 |
| デイわかくさ | 0 | 0 | 1.6 | 144 | 11.5 | 1,338 | 8.9 | 1,146 |
| デイゆうかり | 1.2 | 57 | 2.9 | 212 | 12.8 | 1,163 | 29 | 4,078 |
| しゃきよんの家下町 | 0 | 0 | 3.1 | 349 | 6 | 476 | 4.3 | 652 |
| 合計 | 1.2 | 57 | 7.6 | 705 | 30.3 | 2,977 | 42.2 | 5,873 |
| 事業所 | 介護3 | | 介護4 | | 介護5 | | 合計(延べ利用回数) | |
| | 平均登録者数 | 延べ利用回数 | 平均登録者数 | 延べ利用回数 | 平均登録者数 | 延べ利用回数 | | |
| デイわかくさ | 7.4 | 884 | 5.3 | 747 | 4.8 | 805 | 5,064 | |

| | | | | | | | |
|---------------|------|-------|-----|-------|------|-----|--------|
| デイゆうかり | 11.6 | 1,574 | 3.6 | 537 | 0.25 | 9 | 7,630 |
| しゃきよんの 家下町 | 4 | 477 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,954 |
| 合計 | 23 | 2,938 | 8.9 | 1,284 | 6.05 | 814 | 14,648 |
| | | | | | | | |

*デイゆうかり

- ・要支援1・2の内 総合事業（通所型サービスA） 平均登録者数 8名
延べ利用回数 33回

(2) 介護保険外利用者数

デイわかくさ

- *基準該当障害福祉サービス 平均登録者数 2名 延べ利用回数 254回

デイゆうかり

- *基準該当障害福祉サービス 平均登録者数 1名 延べ利用者数 95回

② 年間の主な行事

- ・お花見会 ・保育園児との交流 ・夏祭り ・おやつづくり
- ・紅葉狩り ・クリスマス会 ・節分会 ・誕生会 ・地域住民の交流
- ・小学生との交流 ・映画鑑賞 ・子育てサークルとの交流会
- ・感謝祭（地域交流）

③ ボランティア協力状況

| 事業所 | 定期的なボランティア数 | 訪問ボランティア団体数 | 訪問ボランティア回数 |
|-----------|-------------|-------------|------------|
| デイわかくさ | 延べ 475 人 | 19 | 105 |
| デイゆうかり | 延べ 325 人 | 26 | 125 |
| しゃきよんの家下町 | 延べ 133 人 | 5 団体他個人 | 51 |

④ 実習受け入れ

- 甲斐清和高（施設実習）2名（わかくさ）
- 優和福祉専門学校（介護福祉士養成）3名（ゆうかり）

VI 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法のもと指定障害サービス事業所として、関係機関と連携し、利用者がその人らしい自立した在宅生活を送れることを目的に、家事や外出時の介護など日常生活を支援しました。

① 障害者総合支援事業(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

| サービス提供日数 | 月間利用者数の合計(年) |
|----------|--------------|
| 366 日 | 685 人 |

② 障害者移動支援事業(委託事業) 利用者数は月間利用者数の合計(年)

| | | |
|--------------------|-------|-----------|
| ヘルパー支援型 利用者数 | 200 名 | 年間 1108 回 |
| 車両型 利用者数(登録者 23 名) | 171 名 | 年間 576 回 |

③ 養育支援訪問事業(委託事業)

| | | | |
|------|-----|------|-----|
| 利用件数 | 1 名 | 派遣回数 | 3 回 |
|------|-----|------|-----|

④ 生活介護(基準該当障害福祉サービス)

*基準該当障害福祉サービス 延べ人数 12 名
延べ回数 100 回

Ⅶ 養護老人ホーム事業

平成 30 年度、市が閉鎖の方向性を示したことで、平成 30 年度後半から入所者の措置替え(退寮)に向け、一人ひとりに対し丁寧な対応を心掛け、新しい入所先でも健康で安心した生活ができるよう南アルプス市並びに他の措置権者とも連携を図りながら進めてきました。

近隣の地域住民と合同で行う防災訓練や交流事業を実施し、最後まで地域に開かれた施設運営を目指しました。

令和 2 年 1 月までには、全員が県内の養護老人ホーム、介護施設(特養・老健)に入所となりました。

多くの方々に支えられ、地域と共に歩みながら、支援を必要とする多くの人たちを、長きに亘り支えてきた「養護老人ホーム慈恵寮」は、令和 2 年 3 月 31 日をもって閉鎖となりました。

① 養護老人ホーム慈恵寮運営管理

① 入所者数推移(毎月 1 日現在)

| | | | | | |
|----------|---------|------|---------|------|------|
| H31. 4 月 | R1. 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 |
| 19 名 | 17 名 | 15 名 | 12 名 | 11 名 | 12 名 |
| 10 月 | 11 月 | 12 月 | R2. 1 月 | 2 月 | 3 月 |
| 8 名 | 4 名 | 3 名 | 1 名 | 0 名 | 0 名 |

② 主な実施行事

| 月日 | 事業内容 |
|---------|--------------------------------|
| 4月 3日 | 期日前投票（4・18日） |
| 7日 | 地区の御幸祭にて神輿来寮 |
| 9日 | お花見会 |
| 17日 | 中央図書館読み聞かせ来寮 |
| 22日 | 手作りおやつ（どら焼き） |
| 5月 13日 | 訪問理髪（20日） |
| 14日 | バーベキュー |
| 16日 | さつま芋苗植え |
| 16日 | TDKバラの見学に |
| 28日 | 歯科一斉検診（くわしま歯科） |
| 6月 5日 | 外出レク（ちのファッションセンター・富士川道の駅） |
| 13日 | 市体協舞踊部訪問 |
| 18日 | 峡西病院一斉検診 |
| 20日 | 救急救命講習 |
| 23日 | 柿平第2町内会と合同防災訓練 |
| 7月 2日 | 七夕飾り付け |
| 18日 | 手作りおやつ（あんみつ） |
| 26日 | 慈恵寮納涼会 |
| 30日 | 買い物のため外出（オギノ） |
| 8月 1日 | オカリナ演奏ボランティア訪問 |
| 13日 | 善徳院和尚様棚経 |
| 14日 | 柿平盆踊り参加 |
| 27日 | 落花生収穫 |
| 9月 12日 | 学生音楽ボランティア・華道ボランティア訪問 |
| 11日 | 夜間防災訓練 |
| 17日 | 市長慶祝訪問 |
| 19日 | ぶどう狩り（原田農園） |
| 10月 11日 | 外出レク（オーチャード・ハッピーパーク・ふるさと文化伝承館） |
| 13日 | さつま芋堀り |
| 26日 | 楡形地区市民文化祭出品（26・27日） |
| 27日 | ハロウィンキャンディーステーション実施 |
| 30日 | 慈恵寮交流運動会 |
| 11月 7日 | 干し柿作り |
| 12日 | 中央図書館読み聞かせボランティア訪問 |
| 19日 | 秋のレクレーション（ラザウオーク） |
| 23日 | 柿平子供クラブ落葉掃き訪問 |
| 25日 | 防災訓練（地震） |
| 12月 2日 | 手作りおやつ（あんびん） |
| 12日 | クリスマス会（音楽クラブと一緒に） |
| 27日 | 大掃除・賀正飾り |
| 1月 6日 | 音楽クラブ |
| 7日 | 健康体操 |

※ 毎月講師指導のもとクラブ活動を実施（音楽・書道・華道・ゆる体操・健康体操・舞踊） ※映画会は毎週日曜日 ※毎週土曜日 アクティビティー実施
 ※お楽しみ給食毎月15日 ※毎月2回買い物実施 ※訪問理髪 年4回 …他
 ※誕生日は毎月おやつ時実施 ※週2回（火・木）寮内歩け歩け実施

③ ボランティア協力状況

| 月 | 団体名・個人等 | 人数 | 月 | 団体名・個人等 | 人数 |
|----|------------------------------------|----------------------|-----|-------------------------------|-----------------|
| 4月 | 音楽クラブ 朗読ボランティア | 4名 5名 | 10月 | 音楽クラブ | 4名 |
| 5月 | 音楽クラブ | 2名 | 11月 | 音楽クラブ 柿平子供クラブ落葉掃き 中央図書館 | 3名 50名 4名 |
| 6月 | 原田様 音楽クラブ 市体協舞踊部 | 1名 3名 30名 | 12月 | 忘年会（音楽クラブ） | 4名 |
| 7月 | 音楽クラブ 中澤様 | 3名 1名 | 1月 | | 0名 |
| 8月 | オカリナ演奏 音楽クラブ 原田様 朗読ボランティア | 4名 3名 1名 3名 | 2月 | | 0名 |
| 9月 | 音楽クラブ 学生音楽ボランティア 華道ボランティア | 3名 2名 2名 | 3月 | | 0名 |

Ⅷ その他

① 各種団体、各保健・福祉施設等との連携

社会福祉法人等との地域連絡会（仮称）の開催（新規）

| 日 程 | 内容 | 人数 |
|--------|---------------------|-----|
| 8月23日 | 組織体制の整備、委員長・副委員長の決定 | 32名 |
| 10月23日 | 正副委員長会議、今後の予定について | 7名 |

② 老人クラブ事務局の運営

③ 共同募金市支会の運営

街頭募金活動

10月1日（火）社協理事・ボランティア・福祉施設職員・社協職員により市内6ヵ所において実施 36名参加

IX 職員の質の向上（職員研修）

職員研修

| 研修日 | 内 容 | 講 師 | 参加者 |
|------------------|--------------|-----------------------|-----|
| 5月23日 7月2日 | 接遇研修 | あいおいニッセイ同 和損保 中込毅氏 | 60名 |
| 10月25日 10月29日 | BCP研修 | あいおいニッセイ同 和損保 中込毅氏 | 25名 |
| 2月20日 | JAF交通安全座学講習会 | J A F 山梨支部丹沢 氏 | 13名 |

研修チーム主催の職員研修

| 研修日 | 内 容 | 講 師 | 参加者 |
|-------|--|-------------------|-----|
| 8月23日 | 働き方改革 | 社会保険労務士 小林和美氏 | 36名 |
| 2月27日 | 社協職員の仕事について考 える～ファシリテーションの技 術を取り入れて～ | 市福祉総合相談課 河野慎治氏 | 36名 |

総務課

| 研修日 | 内 容 | 主催者 | 参加者 |
|-----------------|---------------------------|----------------------|-----|
| 8月1日 | 社会福祉会計簿記「入門講座」 | 一般社団法人総合福 祉研究会 | 1名 |
| 8月22日 | 指導監査対応事務処理体制向 上支援セミナー | 税理士法人 中山・ 久保嶋会計 | 2名 |
| 8月24日～ 8月26日 | 市区町村社会福祉協議会管理職 員研修 | 中央福祉学院 | 1名 |
| 9月24日 | 「イチカラ知る」障害者雇用に 関するセミナー | 山梨労働局 職業安 定部職業対策課 | 2名 |
| 10月24日 | 社会保険事務研修会 | 竜王社会保険委員会 | 1名 |
| 12月18日 | 社会福祉法人会計実務講座 社 協中級コース | 中央福祉学院 | 1名 |
| 2月20日 | 財務分析実践研修 | 山梨県社会福祉協議 会 | 2名 |

地域福祉課

社外研修

| 研 修 日 | 内 容 | 主催者 | 参加者 |
|---------------|--------------------------------|---------------------------------|-----|
| 7月29日～ 30日 | 関東ブロック郡市町村社協職員 合同研究協議会 | 関ブロ郡市町村社協 職員合同研究協議会 実行委員会 | 2名 |
| 8月22日～ 23日 | コミュニティにおけるソーシャ ルワーク力強化研修・長野 | 長野県社会福祉協議 会 | 3名 |
| 9月5日～ 6日 | 地域福祉コーディネーターリー ダー研修会 | 山梨県 | 2名 |
| 9月9日～ 10日 | 生きがい助け合いサミット in 大 阪 | さわやか福祉財団 | 3名 |
| 10月1日～ 3日 | 2019年度災害ボランティアセン ター運営者研修 | 全国社会福祉協議会 | 1名 |
| 11月20日 | 長野県小布施町社協視察(地域支 えあい協議体視察研修 | 市介護福祉課 | 4名 |

社内研修

| 研 修 日 | 内 容 |
|---------------------------------|---|
| 地域福祉推進係研修 (社協内他所属職員も参加) | 6月 民生委員児童委員協議会について 8月 共同募金の仕組みについて 10月 自治会組織について 2月 保険の仕組みについて |
| ふくし相談支援センター内研修 (社協内他所属職員も参加) | 4月 福祉金庫について 生活福祉資金について 社会適応訓練事業について 5月 生活保護について 生活困窮者自立支援法について 7月 年金(障害者年金)について 8月 就労型Bサービスについて 10月 コミュニティにおけるソーシャルワーク 力強化研修(伝達研修) 3月 社協内事例検討会 |
| 防災士チーム | 熊本地震から学ぶ～西原村社会福祉協議会の実 践～ |

講師派遣

| 研修日 | 内 容 | 主催者 | 参加者 |
|-------|-------------|-----|-----|
| 5月11日 | 武蔵野大学新入生懇談会 | | 1名 |

成年後見センター

| 研修日 | 内 容 | | 参加者 |
|------------|---------------------------|----------|-----|
| 5月30日 | 成年後見制度利用促進に向けた推進会議 | 山梨県 | 2名 |
| 6月22日 | 本人情報シートに関する研修会 | ばあとなあ山梨 | 2名 |
| 6月25日 | 日常生活自立支援契約締結審査会 | 県社協 | 1名 |
| 7月22日 | 家事関係機関との連絡協議会 | 甲府地方裁判所 | 2名 |
| 7月29日 | 日常生活自立支援事業に係る金融機関との連絡会 | 県社協 | 1名 |
| 9月13日 | 新任生活支援員研修会 | 県社協 | 1名 |
| 10月28日 | 日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会 | 県社協 | 6名 |
| 10月29日～31日 | 成年後見制度利用促進体制整備研修 | 全社協 | 1名 |
| 12月4日 | 日常生活自立支援事業専門員・生活支援員合同研修会 | 県社協 | 2名 |
| 12月11日 | 日常生活自立支援事業・生活保護ケースワーカー研修会 | 県社協 | 1名 |
| 12月11日 | 基幹的社協専門員連絡会議 | 県社協 | 1名 |
| 12月13日 | 知的障がい者福祉業務従事者研修会 | 県障がい者相談所 | 2名 |
| 12月26日 | 事務局長・専門員合同連絡会 | 県社協 | 2名 |
| 2月28日 | 法人後見実施社協等情報交換会及び研修会 | 県社協 | 3名 |

居宅支援課

| 研修名 (主催・項目) | 内容 ()は受講人数 | 受講者数 合計 |
|----------------|--------------------------------|------------|
| 山梨県 | ・予防マネジメント(1)・更新研修Ⅰ(1)・更新研修Ⅱ(1) | 3名 |

| | | |
|-----------------|---|-----|
| 南アルプス市 | ・事業所集団指導 (1)・自立支援ケアプラン(1) ・精神疾患と障害福祉サービスの理解を深める実践研修(3)・虐待防止、権利擁護(2)・認知症ケア対応力向上研修(2)・話し合いの進め方研修(4)・高齢精神障害者の地域移行(2)・在宅療養介護のための多職種連携(3) | 18名 |
| (県・峡中)介護支援専門員協会 | 総会(1)・地域で暮らす利用者の生活を支える(3)・介護予防につながる栄養(2)・地域連携研究発表会(4) | 10名 |
| 社協主催 | ・福祉避難所の設営 (3) 地域福祉課勉強会(4) 市民後見人講座 (7) ・ふくし勉強会(3) ・CSW実践報告 (3) | 20名 |
| 課内研修 自主研修 | ・社協ケアマネジャーの倫理(4)・防災・災害対策2回(9)・制度改正、居宅介護支援事業所運営基準(5)・保健衛生学習会6回(24)・訪問看護(4)・地域資源(5)・多職種連携(4) | 55名 |
| 事例検討会 | ・事業所内8回(33)・他事業所合同3回(8) ・市連絡会主催南部エリア(4)・北部エリア(2) | 47名 |

訪問介護課

| 研修名 | 内 容 ()内は参加人数 | 参加者数 |
|-----------------|--|------|
| 事業所内部 研修会 | ・ヘルパーマニュアル(30)・安全運転者講習(23)・食中毒熱中症(34)・接遇(29)・ケース検討(29)・トランスファ(18)・救急救命(31) ・感染症/インフルエンザ(25)・高齢者の栄養(23)・「サービス提供責任者の制度上の位置づけ・責務」(6) | 248名 |
| 山梨県 | ・介護保険事業所集団指導(1)・障害福祉サービス集団指導(2)・定期巡回随時対応サービス企業セミナー(2) | 5名 |
| 専門研修 | ・同行援護研修基礎編(1)応用編(1)・福祉有償運送運転者講習会(2)・特定処遇改善加算セミナー(2)・サービス提供責任者研修(2) | 8名 |
| 南アルプス市包 括・福祉 | ・高齢者虐待・権利擁護(3)・介護サービス向け虐待防止研修(1)・障害従事者虐待防止(2)・認知症対応力向上研修(1)・認知症予防研修(2)・医療介護講演「終活」・多職種連携意見交換会(4) | 14名 |

| | | |
|-----|--|-----|
| その他 | ・市民後見人講座 (3) ・HUG (災害時シュミレーション) (2) ・「地域福祉活動計画とは」 (4) ・福祉避難所 (3) ・支えあいの地域づくりフォーラム (1) ・福祉勉強会「家族を考える」 (1) ・CSW実践報告会 (1) | 15名 |
|-----|--|-----|

通所介護 (ゆうかり・わかくさ)

| 研修名 | 内 容 | 参加者数 |
|-------------|---|------|
| 新加算セミナー | 介護職員特定処遇改善加算の詳細について | 1名 |
| 感染症対策講座 | レジオネラ感染症 | 2名 |
| 南アルプス市事業所研修 | 南アルプス市事業所全体会・認知症ケア対応力向上研修 | 4名 |
| 社協職員研修 | 接遇マナークレーム対応 働き方改革・社協職員の仕事について考える・BCP作成研修・防災研修・HUG研修 | 33名 |
| 高齢者権利擁護研修 | 新任課長職研修 | 1名 |
| 施設内研修 | 権利擁護セミナー (福祉従事者のための権利擁護制度) | 2名 |
| 介護職員テーマ別研修 | 虐待防止研修 認知症ケア | 24名 |
| 山梨県社会福祉協議会 | ・病気・事故対応・介護職員の為の薬の基礎 雑談向上力・アンガーマネジメント研修 ・アクティにていの差別化と実践研修 | 5名 |
| 山梨県社会福祉協議会 | ・災害時要援護者支援対策事業「福祉避難所設置・運営研修会」 | 3名 |
| 老施協 | 社会福祉施設給食担当現任研修 | 1名 |
| 山梨県 | 介護保険事業所集団指導 | 2名 |
| その他 | 交通安全座学講習会・新カリキュラム対応介護実習指導者研修 | 4名 |

通所介護 (しゃきよんの家下町)

| 研修名 | 内 容 | 参加者数 |
|---------|---------------------|------|
| 新加算セミナー | 介護職員特定処遇改善加算の詳細について | 1名 |

| | | |
|---------------|---|----|
| 福祉サービス苦情研修 | 福祉サービス苦情解決事業研修会 クレームを発生させない、発展させない処遇 | 1名 |
| 口腔ケア研修 | 口腔機能の基礎知識、ケア方法と注意点 | 1名 |
| 心と体の仕組み研修 | 血液の働き、心臓の働き、腎臓の働きを理解する | 1名 |
| メンタルヘルス研修 | 自分の気持ちを伝えつつ、相手も尊重するコミュニケーション方法 | 4名 |
| 高齢者虐待・権利擁護 | 早期発見、不適切ケア、権利擁護 | 4名 |
| 排泄を考える研修 | 高齢者の排泄障害メカニズムからの対処法 | 1名 |
| 認知症を持つ人の排泄ケア | 高齢者の排尿について、排泄障害の種類と病態 | 1名 |
| レクレーション技法 | レクの必要性、提供する際に身につけておく事と注意点 | 1名 |
| 認知症ケアスキルアップ研修 | コンチネンスケア | 1名 |
| 認知症高齢者の理解 | 尊厳や自立とは、ケアする上で大切なこと | 1名 |
| 福祉避難所設置・運営研修 | 過去からの事例で学ぶ福祉避難所、スフィア基準、実践講義 | 1名 |

養護老人ホーム慈恵寮

| 研修日 | 内容 | 参加者 |
|--------------|--|-----|
| 5月20日 | 感染症対策委員会「嘔吐物の処理」(寮内) | 4名 |
| 6月12日 | 「働き方改革関連法に係る労働管理研修」 (山梨県老人福祉施設協議会) | 1名 |
| 6月16日 | 身体拘束ゼロ対策運営委員会 「身体拘束ゼロ対策等行動制限防止に係る規定」の共有 | 4名 |
| 7月22日 | 伝達研修「働き方改革について」(寮内) | |
| 8月20日 | 感染症対策委員会「高齢者の熱中症」(寮内) | 5名 |
| 9月17日 | 事故防止委員会「誤嚥について」(寮内) | 4名 |
| 9月17日 | 感染症対策委員会「口腔ケアについて」(寮内) | 4名 |
| 10月16・23・30日 | 南アルプス市内専門職向け認知症ケアスキルアップ研修(特定医療法人南山会) | 5名 |
| 10月28日 | 伝達研修「熊本地震に伴う西原村福祉避難所の開設と運営について」(寮内) | |

| | | |
|--------|---|----|
| 11月10日 | 身体拘束ゼロ対策運営委員会 伝達研修「南アルプス市内専門職向け認知症ケアスキルアップ研修会」(寮内) | 7名 |
| 11月13日 | 「クレーム対応力向上研修」(山梨県社会福祉協議会) | 1名 |
| 11月18日 | 事故防止委員会「誤嚥事故を防ぐために」(寮内) | 5名 |
| 11月18日 | 「生活保護制度を知る・人権擁護について」 | 1名 |
| 11月25日 | 伝達研修「クレーム対応力向上研修」 | 7名 |
| 11月27日 | 「認知症周辺症状研修」(山梨県社会福祉協議会) | 1名 |
| 12月23日 | 感染症対策委員会「高齢者に多い感染症の特徴」(寮内) | 5名 |
| 12月17日 | 事故防止委員会「高齢者に多い病気」(寮内) | 4名 |
| 12月23日 | 伝達研修「認知症周辺症状研修」 | 7名 |
| 1月17日 | 「脳を守るライフスタイルで人生100年時代を南アルプス市で生きる」(南アルプス市) | 2名 |
| 1月20日 | 身体的拘束ゼロ対策運営委員会「介護保険施設における身体拘束廃止に向けた取り組み」研修(寮内) | 4名 |
| 1月20日 | 事故防止委員会「介護事故を防ぐうえで見落としやすいポイント」(寮内) | 5名 |
| 2月25日 | CSW 実践報告会 | 1名 |

北部地域包括支援センター

| 研修日 | 内容 | 参加者 |
|----------------|-----------------------|-----|
| 4月15日 | 働きたいのに働けない若者たちについて考える | 2名 |
| 5月17日 | 高齢者・障がい者に関する勉強会 | 2名 |
| 5月21日 | キャラバンメイト連絡会 | 2名 |
| 5月23日 | 虐待対応研修 | 4名 |
| 6月18日 6月19日 | 地域包括支援センター職員基礎研修 | 2名 |
| 6月26日 | 介護予防ケアマネジメント従事者研修 | 2名 |
| 6月27日 | 相続セミナー 相続法が変わった! | 2名 |
| 6月28日 | 地域包括ケアシステムと地域共生社会 | 1名 |

| | | |
|----------------|------------------------------|-----|
| 7月2日 | 介護サービス事業所全体会 | 5名 |
| 7月9日 | 地域包括支援センター職員研修会 | 5名 |
| 7月27日 7月28日 | 成年後見人材育成研修 | 1名 |
| 8月1日 | 自立支援に資するケアプラン研修会 | 5名 |
| 8月23日 | 主任ケアマネ連絡会事例検討会 | 3名 |
| 8月29日 | 社協職員 防災学習会 | 1名 |
| 8月29日 | 防災学習会(災害時の福祉避難所運営と連携) | 1名 |
| 9月3日 | 精神疾患と障害福祉サービスの理解を深める 実践研修 | 2名 |
| 9月13日 | 権利擁護研修 | 1名 |
| 9月17日 9月18日 | 認知症地域支援推進員研修 | 1名 |
| 9月21日 | 高齢者虐待防止研修 AAA | 1名 |
| 10月18日 | 自治会について | 2名 |
| 10月23日 | 救命救急入門コース | 1名 |
| 10月31日 | 認知症疾患医療センター事例検討会 | 3名 |
| 11月13日 | チーム力を高めるケースカンファレンスとは | 2名 |
| 11月15日 | 市民講座 ひきこもり支援 | 1名 |
| 11月15日 | 虐待防止・権利擁護研修会 | 2名 |
| 11月18日 | 認知症ケア対応力向上研修 | 2名 |
| 11月22日 | 介護支援専門員事例検討会 | 2名 |
| 12月4日 | 支えあいフォーラム | 2名 |
| 12月12日 | 精神保健福祉市民セミナー | 1名 |
| 1月17日 | 依存症研修 | 1名 |
| 2月5日 | 定期巡回・随時対応サービス勉強会 | 4名 |
| 2月6日 | 虐待防止・意思決定支援事例検討勉強会 | 3名 |
| 2月24日 | ふくし勉強会 | 1名 |
| 2月25日 | CSW 実践報告会 | 3名 |
| | 課内事例検討会 (5回) | 25名 |